

ネットショップ開設の山商生徒に

# 起業のノウハウ伝授

伊勢市産業支援センター

伊勢市産業支援センター(伊勢市朝熊町)の講師から起業のノウハウを学ぶ「みんなが主役だ in 山商」が11月16日、県立宇治山田商業高校(同市黒瀬町)であった。3年生の情報処理科19人と商業科1人が、創業時の手続きや税金の仕組みなどを学んだ。若者の創業者を啓発する目的で、同センターが今年

から高校に出向き行っている起業者支援セミナー。同校の生徒たちは今月中旬から1カ月間、それぞれが起業者になりインターネットで物品を販売するネットショップを開設する計画

で、9月に企業・経営の基礎のセミナーを受講した。同センターのインキュベーター・マネージャーの三田泰久さん(アリー・バード代表)が教壇に立ち、個人事業主と法人化の違いや手続きの仕方、税金の仕組みなどを詳しく説明

＝写真。また、

「社長は、企業の戦略を練るのが仕事で一番大事」と、起業人としての社会責任の重さも説いていた。生徒からは「個人事業主は法人化できるのか」「所得税率は決まっているのか」と活発な質問が出された。3年の榎屋達人さんは「学校では学べない税金のことや、起業の立て方、手続きの仕方などが学べ勉強になる」と熱心に聞いていた。(文)

